

2024年

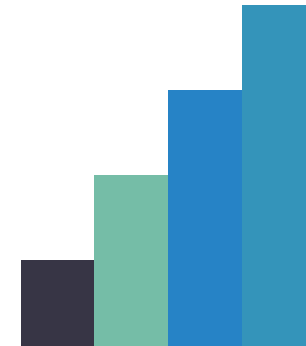
審判講習会

2024年3月吉日



2023年度 全国競技運営責任者会議

2024年2月12日(月休)
オンライン会議
公益財団法人日本陸上競技連盟



伝達内容

- 2024年度競技規則修改正
- スタート関連について
- WRkについて
- 広告規定について
- 各種全国大会報告
- 質疑応答

伝達内容

・2024年度競技規則修改正

- ・スタート関連について
- ・WRkについて
- ・広告規定について
- ・各種全国大会報告
- ・質疑応答

2024年度競技規則修改正のポイント

2024年2月12日
日本陸上競技連盟
競技運営委員会

CR

(Competition Rule)

全体①

- 「ワールドランキングコンペティション定義」での競技会分類に変更

【WA】

- 2022年11月修改正で「国際競技会定義」を「ワールドランキングコンペティション定義」に変更するも、競技規則全体での見直し未了
- 2023年5月修改正で競技規則全体に変更反映

(例) 国際競技会定義1.1、1.2、1.3の競技会

→ ワールドランキングコンペティション定義1.(a)(b)(c)に該当する競技会

全体②

- 条文内容の移動・記載場所の変更による、条文番号の変更・追加や参照条文番号の変更

(例) CR18.5 (審判長による警告・除外) → 新TR7.1
TR7.1 (競技規則違反時の失格の扱い) → 新TR7.2
TR7.2 ~7.4 (競技規則違反時の失格の扱い) → 新TR7.3 ~7.5

CR31 (世界記録)
CR32 (世界記録種目)
CR33 (U20世界記録種目) → 新CR31 (世界記録)
CR34 (室内世界記録種目) → 新CR32 (世界記録と
CR35 (U20室内世界記録) U20世界記録種目)

競技会規則【CR】

- **CR18.5 審判長の権限**

- 競技者に競技者にあるまじき行為・下品な行為に対する警告・除外権限
→ 具体的な内容はTR 7へ移動

- **CR25.4 スタートリスト・結果に用いる略号**

- (追加) 抽選による次ラウンドへの進出 qD
- (追加) 抗議中の競技 P

- **CR25.5 TIC**

- バーチャルTIC (Web方式TIC) の設置
→ [国内] 主催者判断で設置可能
(個別検討要)

インフラ整備、関係者への連絡方法、運用時間 等

TR

(Technical Rule)

競技規則【TR】

• TR4.3 同時申込

➤ ワールドランキングコンペティション（WRK）では、原則を適用する

✓ TR4.3 試技を行うべき順序の際に競技者不在の場合は、試技時間が過ぎたら「パス扱い」とする

〔国内〕 HJおよびPVでは、事前に申告すれば「無効試技扱い」とすることができる

→ 〔国内〕適用不可

パス : その高さは跳べない

無効試技 : その高さの1回目（2回目）は跳ばないが、2回目（3回目）は跳べる

競技規則【TR】

• TR4.4 参加の拒否

➤ 国内でも適用可能に変更（主催者判断）

- ✓ TR4.4.1～4.4.3に該当する競技者は、正当な理由がない場合を除き、当該行為があったら、それ以降の全種目に参加できない

TR4.4.1 当該種目に出場することの最終確認がなされていたにもかかわらず出場しなかった

TR4.4.2 予選や準決勝等でそれ以降に出場する資格を得たのに出場しなかった

TR4.4.3 誠実に全力を尽くして競技しなかった

➤ 適用する場合は、要項・注意事項等に記載

- ✓ 競技会の性格（例：対校戦）によっては、適用が難しいケースあり

競技規則【TR】

- **TR6.4.5 許可される助力（フィールド種目の競技者によるビデオ映像確認）**

- **要件緩和**

- ✓録画再生機器や録画映像は録画映像を提供する者のすぐ近く的位置（コーチボックス近辺）であれば、競技区域内に持ち込むことが認められる

許可：競技者が手に持って、操作して確認すること

禁止：競技者自身が録画機器等を招集所から持ち込むこと

映像確認後に競技場所等へ再生機器等を持ち込むこと

「違反にならない助力」の一つとして認められるのであり、
「手に取って見られるようにしなければならない」ということではない

競技規則【TR】

• TR8.4 トラック種目の**スタートに関する現場での抗議（競技中の抗議）**

- SIS使用時のみ、国内でも適用可能に変更（主催者判断）

✓「抗議中」として競技することを認めた場合

■競技者に「赤白カード（斜め半分）」提示

■関係者間で情報共有

- 適用する場合は、要項・注意事項等に記載



• TR8.5 フィールド種目の**現場での抗議（競技中の抗議）**

- 国内でも適用可能に変更（主催者判断）

✓抗議を認める場合には、記録の保全を徹底

- 適用する場合は、要項・注意事項等に記載

競技規則【TR】

• TR16.5.3 スタートの中止事由の見直し

- (現行) 「On your marks (位置について) 」または「Set (用意) 」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者の妨害をした時

(修正後) 「On your marks (位置について) 」または「Set (用意) 」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者の妨害をし、その結果、その選手が他の競技者の不正スタートを生じさせた時^I

- 現状、「ピクつき (局所的な動き) 」に対して「警告 (イエローカード提示) 」としている運用の見直し検討へ

【本会議「スタート関連について」にて詳細説明】

競技規則【TR】

• TR17.1 レースにおける妨害

- 現TR17.2.1 → 新TR17.1.1 (変更なし)

妨害行為が意図せずに引き起こされた場合・・・

- 現TR17.2.1 → 新TR17.1.1 (変更あり)

別の競技者が妨害行為を意図的に引き起こしたと審判長が判断した場合・・・

→ 別の競技者が妨害行為の責任があると審判長が判断した場合・・・

- ✓ 違反者が意図的に行ったかどうかに関係なく、審判長が判断する



• TR20.4 シードレーン ①

➤ 種目により異なるシードレーンとする

✓TR20.4.3 直線種目（100m・100mH・110mH等）

上位グループ	3・4・5・6レーン
中位グループ	2・7レーン
下位グループ	1・8レーン

1・2・3・4・5・6・7・8
下・中・上・上・上・上・中・下

✓TR20.4.4 200m競走

上位グループ	5・6・7レーン
中位グループ	3・4・8レーン
下位グループ	1・2レーン

1・2・3・4・5・6・7・8
下・下・中・中・上・上・上・中



• TR20.4 シードレーン ②

- ✓TR20.4.5 400m競走・スタート時にレーンを使用する800m競走・4×400mRまでのリレー競走

上位グループ	4・5・6・7レーン
中位グループ	3・8レーン
下位グループ	1・2レーン

1・2・3・4・5・6・7・8
下・下・中・上・上・上・上・中

- ✓〔国内〕TR20.4.3～20.4.5の考え方に加え、以下の考え方を適用しても良い

上位グループ	3・4・5・6レーン
中位グループ	7・8レーン
下位グループ	1・2レーン

1・2・3・4・5・6・7・8
下・下・上・上・上・上・中・中

競技規則【TR】

- TR30.1.1、TR32.14 フィールド競技の跳躍時・投てき時の靴紐等の扱い①



競技規則【TR】

- TR30.1.1、TR32.14 フィールド競技の跳躍時・投てき時の靴紐等の扱い②



競技規則【TR】

• TR30.1.1、TR32.14 フィールド競技の跳躍時・投てき時の靴紐等の扱い③

- 跳躍 靴本体ではなく、靴紐など靴の緩んだ部分が踏切線の垂直面より前に出たとしても、無効試技とは見なさない
- 投てき 靴の緩んだ部分（靴紐など）や衣服、または身体につけていたその他のアイテム（帽子など）が、投てき開始時、投てき中または投てき後に、足留材上部に触れたとしても、無効とは見なさない



競技用靴に関する規程の再確認① [TR5.2]

- 規程そのものに変更はなし
- ルールブック本文に2024年11月1日から適用の靴底厚も記載
 - 影響があるのは
 - トラック : 800m以上、障害物競走 25mm → 20mm
 - フィールド : 三段跳 25mm → 20mm
 - クロスカントリー : スパイク 25mm → 20mm

伝達内容

- 2024年度競技規則修改正
- スタート関連について
- WRkについて
- 広告規定について
- 各種全国大会報告
- その他報告事項

スタート関連について

海外の競技会事情 Budapest 2023

Competition Transfer of Knowledge by WA から抜粋

リコールされなかったスタート

START LINE

Starts Not Recalled

After the set command and prior to the start, the athlete(s) were observed moving (i.e. nervous leg movement, hips raised high)

In each instance, the athlete(s):

- did not disturb another athlete;
- did not continue into the command;
- did not activate the Seiko Start.

Without specific activity resulting in a recall, these races were not aborted or recalled.

Setの後や号砲前に競技者の動きがあった。
(頭の上下動、局所的な動き、腰の上下等)

それぞれの場合において

- 他の競技者を邪魔しなかった
- スタートの開始まで続かなかった
- SISを作動させなかった

不正スタートや懲戒事項(TR16.5)につながる動きがなければ中断やリコールをしなかった。

JTO研修会(2024.1.28)での関連質問

- 遅延行為は今まで通りYCでよいのか？
⇒ TR16.5.2の適用でYCを提示することができる
- SISがない場合はどのようにジャッジしていくのか？
⇒ 現場の審判で見たことを基に判断
- 局所的な動きをした競技者からの影響を、
レーンの遠近で判断は難しいのでは？

局所的な動きについて TR16.5.3

「・・・ On your marks または Set の合図の後、

- ~2017年「音声**その他の方法**で他の競技者を妨害した時」
- 2018年「音声や**動作**、~~その他の方法~~で他の競技者を妨害した時」



- 2021年東京オリンピックでIS(ESP)から「**打ち戻すのはBig movementのみ**」



- **2023年WAにより修改正。解釈が大幅に変更された。**

ツイッチ(局所的な動き)は打ち戻してYC by WA

TR16.5.3修正内容

- 「On your marks または Set の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害し、**その結果、その選手が不正スタートを生じさせた時**」にYC適用

WAの改訂理由

この規則は、世界中のスタート審判長（およびスターター）を務める審判によって異なる方法で解釈されている。

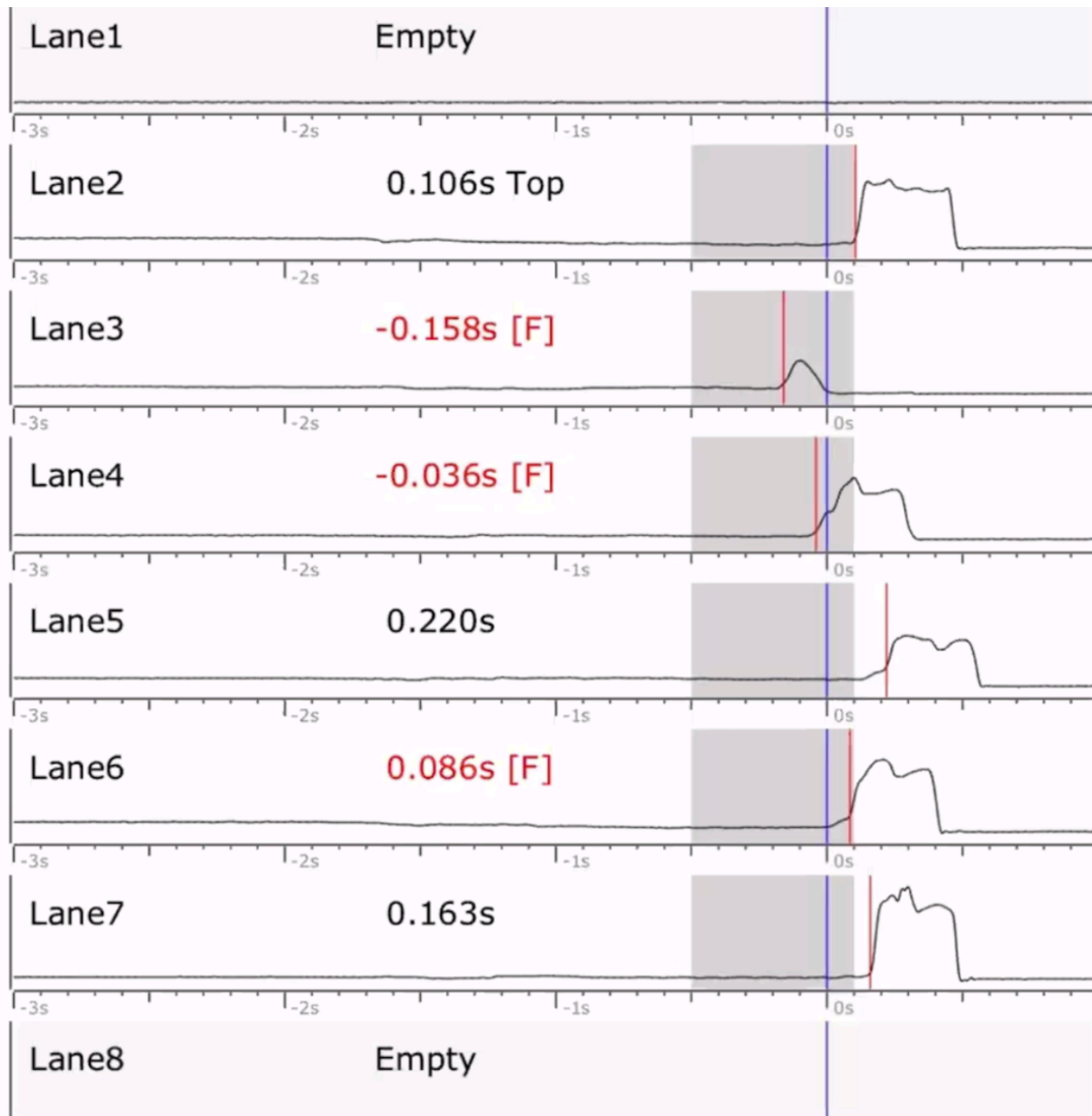
スタート審判長は、スターターがスタートを中断した後、またはSISが自動的に（オートリコールで）選手を呼び戻したときに、他の何も邪魔をしない（時には非常にわずかな）ことで選手に警告をしている。

事例 RTと波形図

- ・ 4レーンの動きは3レーンの動きによるもの
 - ・ 6レーンの動きは4レーンの動きによるもの
- と考えることもできる。

現場でこのようにジャッジした場合には3レーンにYC

不正スタートの原因は本人なのか、周りの何かなのか。それを現場の審判員は判断しなければならない。



WAに問い合わせた内容と回答

- 局所的な動き（や微細な動き）があっても静止を確認し号砲することによいか？
 - ⇒ 世界選手権では同様の対応。WA側はその判断を支持する。
不正スタートや懲戒事項(TR16.5)につながる動きがなければ、レースを中断したり撃ち戻したりしない。
- 不正スタートではないが、オートリコールが作動するような大きな動きは、それにつられた競技者がいなくてもYCとなるか？
 - ⇒ YCは他の競技者のスタートに真に影響を与えたときのみ。
SISを使用していなくても同様の対応。
- その場合グリーンカードでの対応でいいのか？
 - ⇒ 「Probably yes.」 恐らくその可能性もある。

スターター研修会での質問

- **局所的な動きや腰を上げた後に下げて止まるのは今までやり直しをしていたが？** → **やり直さず静止を確認した時点で号砲**
- 他の競技者に悪影響が出そうなほど静止に時間がかかるときは？ → 立たせてTR16.5.2遅延行為として注意またはYCもあり
- Setから号砲までの最適な時間は何秒？ → 静止を確認した瞬間が撃つタイミング、全員が静止するのにかかる時間はレース毎に異なる（規則TR16.3グリーンノート参照）
- On your marks後の気合を入れる等の大声は？ → 問題ない

TR16.5.3 修改正後の運用について

●撃ち戻されるスタートは

- ①不正スタート（または不正スタートの疑い）があったとき
- ②ある競技者が動き、他の競技者が不正スタートを生じさせたとき
- ③オートリコールが作動したとき
- ④外的要因があったとき（機材不具合/雑音/スタブロが滑った等）

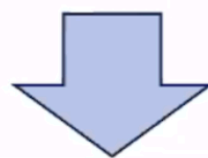
○撃ち戻さないケース

局所的な動きや腰・頭の上下動あっても、その後の号砲時には静止していた場合

TR16.5.3 修正後の運用について

TR16.5.3でYCが出されるのは

今までは、局所的な動きや腰の上下動でYC



他の競技者を妨害し、その結果、その選手が他の
競技者の不正スタートを生じさせた時だけYC
となる

伝達内容

- 2024年度競技規則修改正
- スタート関連について
- WRkについて
- 広告規定について
- 各種全国大会報告
- 質疑応答

WRk競技会に関するお願い

WRk

- 国内で行われるほとんどのWRk（定義：3a.とb.）では〔国際〕をすべて適用する必要はなく、**以下を除き、国内規則の適用で可**
 - ✓必ず適用しなければならないと明記のあるもの
 - ✓競技者にWA規則よりも多くの権利を与える（有利になる）もの
- 但し、WRkによっては（定義：1.a.～e.、2. a.～e.）、〔国際〕適用必須

- **WRK競技会のポイント**

2023年1月からWRK競技会の記録でないとワールドランキング、世界大会参加資格などWA記録集計の対象にならない

- WRk競技会にするには **WA 規則に準拠** していなければならない
 - WA規則に沿った器具の使用
 - ロードはWA 認証のコース検定が必要、
 - 競歩はU20 以下を除き、3 名以上の IRWJ が必要

確認事項 WRK競技会について(再掲)

<WRK の条件>

- 大会終了後**24 時間以内に記録の報告** が必要
 - WRK競技会は一つの競技会のなかでも対象とする種目と対象としない種目に分けることができる
 - WRK競技会は WA カレンダーに掲載され、ラベルが付与される
 - WRK大会における記録は国際大会などの参加標準記録やワールドランキングの対象となる**
- WRK非対象大会は、世界記録相当でも世界記録公認されず、国際大会の資格記録にはならずランキングにも反映されない

確認事項

WRk競技会について(再掲)

<競技運営>

- WA規則で大会を運営すること
特に記録や計測に関わる部分の適用計測器具
- 投てき器具
- 計測方法など(WAに承認された器具・方法)
- ロードはWA認証コース、
- 競歩はWA認証コース、IRWJ3名以上が必要

確認事項 WRk競技会について(再掲)

・800mまでの競走:写真判定を利用しているか? SISの使用は必須ではない。

→ただし、エリア記録(アジア記録)以上が出た場合は、短距離種目は認定されない。

・計測機器:WAの認定を受けているものを使用しているか?

透過式計測器を使用してもよい(走幅跳及び三段跳)

→ただし、エリア記録(アジア記録)以上が出た場合は、鋼鉄製巻き尺での再計測・確認が必要となる。

確認事項

WRk競技会について(再掲)

- ・機械式風力計を使用してもよい。(CTは不可 TR17.9)
→ただし、エリア記録(アジア記録)以上が出た場合は、認定されない。
- ・競技開始前にゼロコントロールテスト(写真判定機)を実施し、正確性を担保しているか？
- ・競技開始前後に、光波測定器の正確性を担保しているか？
- ・フィールド競技で試技終了後1回ずつ計測をしているか？
- ・走幅跳及び三段跳で粘土板あるいはビデオによる踏切判定が行われているか？

2024年以降について

- WAの審判制度が変更になる見通しで、それに合わせてWAの審判資格取得者(Bronze Referee)がWRk対象大会で審判長などを務める
- 申請、報告の手続きなどについては、24年以降変更になる可能性がある

記録の信憑性について **SNS等ネットの普及**

- 記録の信憑性について世界的に課題になっている
- 日本国内でも、ルール通りの運営が行われていないと思われる競技会がある
- ルール通りに実施されていない競技会をWRk競技会として報告した場合、日本全体として非常に重いペナルティー(監視対象国に指定され、日本選手権、CT大会など以外はWRk競技会に申請できなくなる)を受けることになる
- 記録の信憑性の確保をどのように行っていくかについては、継続して検討していく

伝達内容

- 2024年度競技規則修改正
- WRkについて
- 広告規定について
- 施設用器具委員会報告
- 各種全国大会報告
- 質疑応答

〔国内〕本規程は、以下の競技会に適用される。

- (1) 本連盟主催・共催競技会
- (2) 本連盟後援競技会
- (3) テレビ放映またはインターネット等による
不特定多数に送信される競技会 **SNSの普及**
- (4) アスリートビブス広告協賛を付した競技会
- (5) その他大会要項において本規程の適用を定める
競技会に……規定する競技会

0. WA広告規程 修改正

国際競技会〔国際招待・サーキット・ラベルロードレース〕

における アスリートキット 【衣服/ユニフォーム・その他のアパレル 他】

① 所属団体名/ロゴの表時と、スポンサー名/ロゴ・製造会社名/ロゴ表示数

A：所属団体名/ロゴ 非営利団体名は、上衣高さ **10 cm**（下衣5 cm）で、
前面or背面に表記可

製造会社名/ロゴを含め、3つまでスポンサー名/ロゴが 掲出可

※資料2 A (例) 学校

B：所属団体名/ロゴ 営利（商品名含み）団体名は、サイズに変更は無し
40 cm²

製造会社名/ロゴを含め、2つまでスポンサー名/ロゴが 掲出可

※資料2 B (例) 実業団登録団体等

A : 所属団体名/ロゴに営利(企業)名/商品名を含まない場合 (例) 学校名 (ユニフォーム、ジャージ、Tシャツ等 全てのアスリートキット〔衣類〕)

スポンサーA名/ロゴ

- ・上衣、下衣 それぞれ1つずつ
- ・上衣、下衣とも全く同一の表示でなければならない
- ・40cm²以内、最大高さ5cm、最大長さ10cm
- ・場所は問わない

スポンサーB名/ロゴ

- ・上衣、下衣 それぞれ1つずつ
- ・上衣、下衣とも全く同一の表示でなければならない
- ・40cm²以内、最大高さ5cm、最大長さ10cm
- ・場所は問わない

製造会社/ロゴ

- ・上衣、下衣 それぞれ1つずつ
- ・40cm²以内、最大高さ5cm、最大長さ10cm
- ・場所は問わない
- ※スポーツメーカーの場合は、前面に限る



チーム名/ロゴ

- ・非営利団体に限る
(企業名や製品名を含むもの等はNG)
- ・上衣・下衣とも前面か背面のいずれかに1つ
- ・上衣の場合、最大高さ10cm、
下衣の場合、最大高さ5cm、
長さはいずれも問わない

B : 所属団体名/ロゴに営利（企業）名 / 商品名が含まれる場合 **（例）実業団登録団体名等**
（ユニフォーム、ジャージ、Tシャツ等 全てのアスリートキット〔衣類〕）

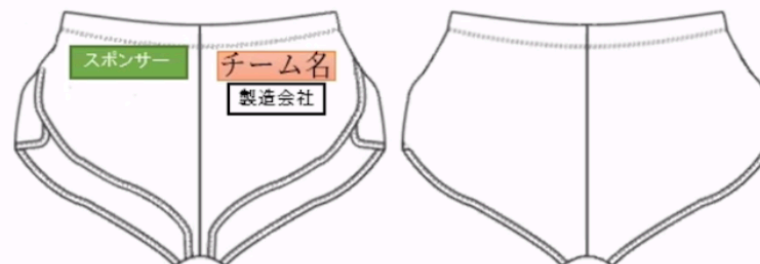
スポンサー名/ロゴ

- ・上衣、下衣 それぞれ1つずつ
- ・上衣、下衣とも全く同一の表示でなければならない
- ・40cm以内、最大高さ5cm、最大長さ10cm
- ・場所は問わない



チーム名/ロゴ

- ・上衣・下衣とも前面か背面のいずれかに1つ
- ・上衣、下衣とも全く同一の表示でなければならない
- ・40cm以内、最大高さ 5cm、最大長さ10cm



製造会社/ロゴ

- ・上衣、下衣 それぞれ1つずつ
- ・40cm以内、最大高さ5cm、最大長さ 10cm
- ・場所は問わない
- ※スポーツメーカーの場合は、前面に限る

0. WA広告規程 修改正

国際競技会〔国際招待・サーキット・ラベルロードレース〕

における アスリートキット【衣服/ユニフォーム・その他のアパレル 他】

②その他のアクセサリ〔手袋・帽子・ヘッドバンド・アームウォーマー他〕

に掲出できる 製造会社名/ロゴ (スポーツメーカーに限る) サイズ

最大の大きさ 6 cm^2 ・最大高さ 3 cm →

最大の大きさ 10 cm^2 ・最大高さ、あるいは長さ 4 cm まで。

競技者名 1個 最大高さ 5 cm

③個人の所有物〔タオル/バッグ〕に掲出できる製造会社名/ロゴ

およびスポンサー名/ロゴ 長さと、表示できる非スポーツメーカー スポンサー 2個

最大の大きさ 40 cm^2 ・最大高さ 5 cm →

最大の大きさ 40 cm^2 ・最大高さ 5 cm 、長さ 10 cm まで。

※表示数は競技者名以外に、3個（製造会社名/ロゴ1、スポンサー名/ロゴ2）

競技者名 最大高さ 5 cm 、長さ 10 cm まで。1個

④セレモニービブス（プレゼンテーションビブス）の高さ 20 cm 大会ロゴ 10 cm → 14 cm



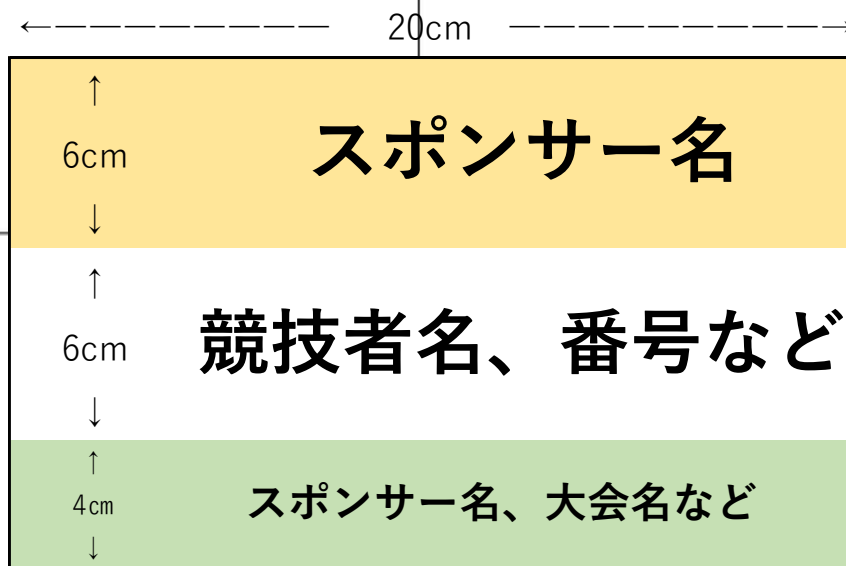
パワーテープ

1つ1つ扱い 例 ○

繰り返し掲出 例 ✕ : チタンテープ (1つか所以外消すか、使用しない)

広告を掲出するアスリートビブスの作り

TR5 〔国内〕	ii アスリートビブス（ビブス）の大きさは、横 24 cm 以内×縦 16 cm 以内とし、個人を識別する文字や数字等の大きさは縦最低 6cm～最高 10cm する。腰ナンバー標識は 12cm×18cm を標準とする。	ii アスリートビブス（ビブス）の大きさは、横 24 cm 以内×縦 16 cm 以内とする。個人を識別する文字や数字等の大きさは、 競技会における広告および展示物に関する規程参照 。腰ナンバー標識は 12cm×18cm を標準とする。
TR5 〔注意〕	<ul style="list-style-type: none"> iii アスリートビブス（ビブス）上部の広告（スポンサー名）は、縦 6 cm 以内、横 24 cm 以内とする。 iv アスリートビブス（ビブス）の広告は、男女別および種目別に分けることができる。 v アスリートビブス（ビブス）の下部の大会名等は、縦 4 cm 以内とする。 vi アスリートビブス（ビブス）の広告を含め、競技者がアスリートビブス（ビブス）を切ったり、曲げたり、文字を隠したりした時は、出場停止にすることができる。 	(詳細は広告および展示物に関する規程参照)



【ユニフォーム広告規程】 出場選手および審判の皆さまへお知らせ

いいね! 299

シェアする

✕ ポスト



伝達内容

- 2024年度競技規則修改正
- スタート関連について
- WRkについて
- 広告規定について
- 各種全国大会報告
- 質疑応答

- | | |
|--|-----|
| ① 第 107 回日本陸上競技選手権大会
第 39 回 U20 日本陸上競技選手権大会 | 大阪 |
| ② 第 107 回日本陸上競技選手権大会・混成競技
第 39 回 U20 日本陸上競技選手権大会・混成競技 | 秋田 |
| ③ 第 76 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 | 北海道 |
| ④ 第 50 回全日本中学校陸上競技選手権大会 | 愛媛 |
| ⑤ 特別国民体育大会 | 鹿児島 |
| ⑥ 第 17 回 U18／第 54 回 U16 陸上競技大会 | 愛媛 |

2024年度 JAAF 競技規則修正審判講習会 開催について

今年度は各種資料は原則印刷いたしません。

下記各種資料を事前にご確認いただき、必要に応じて各自印刷や、お手持ちの電子機器（パソコン・タブレット・スマートフォン等）にダウンロードしておいてください。

- ・ 講習会スライド（伝達講習会後に公開します）
- ・ [2024年度競技規則修正案CR](#)
- ・ [2024年度競技規則修正案TR](#)
- ・ スタート関連資料
- ・ [WRk競技会について](#)
- ・ [広告規定について](#)
- ・ [各種全国大会報告](#)
(日本選手権・インターハイ・全中・国体)

新しいルールブックが4月以降、書店にて販売されます。

日本陸連のHPにも掲載されますのでご確認ください。



全国の書店やアマゾン等で購入できます

日本陸連について

[日本陸連について](#)

[団体情報](#)

[委員会情報](#)

[関連団体](#)

[登録について](#)

[各種規程・ガイドライン等](#)

[スポーツ団体
ガバナンスコード](#)

[ルール・ハンドブック](#) >

ルール・ハンドブック

陸上競技ルールブック2023

正誤表 ※2023.06.13現在

- ・ [目次](#)
- ・ [全ページ](#)

■ワールドアスレティックス規則及び国内適用

- ・ [解釈の規則](#)
- ・ [一般的に適用される定義](#)
- ・ [ワールドアスレティックス規則](#)
- ・ [C2 1R 機械的補助田目目程](#)